

10月に入り、朝夕は涼しくなり少しずつ秋を感じられるようになってきました。まだまだ日中の日差しは暑いですが、比較的過ごしやすい季節になってきました。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋など、秋にはいろいろな過ごし方があります。「読書の秋」という言葉はみなさんご存じだと思います。この「読書の秋」という言葉は様々な説がありますが、中国・唐代の文人である韓愈が詠んだ「燈火親しむべし」という詩からきているという説が有力です。この詩には「秋の夜長は灯りの下での読書に適している」という意味があり、秋が最も読書に適した季節であることを表現しています。そんな読書の秋にあった本を図書館から探してみたいはいかがですか？

しんちやくとしょ  
新着図書



ももいろのきりん

作：中川李枝子 絵：中川豪弥

「ぐりとぐら」でおなじみの作者、中川李枝子さんが書いた絵本です。「きりんなのになぜももいろ？」と思った方もいると思います。主人公の女の子がお母さんからもらった大きな紙できりんを作ります。そのきりんは糊が乾いてないとぐったりしたり、雨に濡れると色が落ちてしまったり…紙で作ったという描写が面白く描かれています。「自分の作った動物が、本当に動き出したら」と考えるといろいろな想像が広がっていく楽しいお話です。

この他にも多くの新着図書があります。ぜひ図書館にお越しください。

ぼうさいげっかん  
防災月間

職員室前の廊下では、9月の防災月間に合わせて防災に関する本を紹介しています。今年も全国各地で多くの自然災害が発生しました。児童生徒たちも紹介している本を借りたり、立ち読みをしたりする姿がありました。

「もしも・・・」の時に備えて、非常用持ち出し袋や避難所を確認することにあわせて、本から防災に関する知識を得ることもおすすめです。ぜひ手にとりてご覧ください。



「こんな本があったらいいな」「この本が読みたいけど図書館にいない」など・・・

図書館にリクエストがあればカウンター前に置いてあるリクエスト用紙にご記入ください。